

平成 26 年度第 1 回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要	
開催日時	平成 26 年 04 月 21 日 16 時～16 時 20 分
開催場所	小山田記念温泉病院第 3 会議室
出席委員	毛受、鈴木、北村、牧野、伊藤、浅野、(敬略称、順不同)
新規研究計画の審議	
申請者	川村 直人
研究名	慢性維持透析患者の予後に及ぼす影響に関する炭酸ランタンと炭酸カルシウムの無作為割付前向き比較試験
研究内容 要旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カルシウム非含有リン吸着薬“炭酸ランタン(商品名:ホスノール バイエル薬品)”、カルシウム含有リン吸着薬“炭酸カルシウム”を比較し、慢性維持透析患者の致死性及び非致死性心血管疾患の減少を明らかにする。</li> <li>・炭酸ランタン投与群か炭酸カルシウム投与群かの割付けは主体会病院で行う。</li> <li>・目標登録症例数 3,000 症例のうち、主体会病院での登録症例は 5 例以内を予定している。</li> </ul>
審議結果	承認
参考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同研究であり、すでに主たる研究機関である昭和大学病院において、研究実施の許可が得られている(研究名略称:TRIGU1111)。</li> <li>・UMIN CTR 臨床試験登録システムに登録されている(UMIN 試験 ID: UMIN000006816)。</li> <li>・臨床研究保険に加入している。</li> <li>・主たる研究機関である昭和大学病院や研究支援を行う先端医療振興財団と主体会病院の間には特別な利害関係はなく、特別な個人関係もない。</li> </ul>
書類審査の審議	
申請者	位田 貴俊
研究名	生活行為自立支援に向けたリハビリテーションの効果と質に関する評価研究
研究内容 要旨	日常生活動作や趣味活動等の生活行為の目標が、実際に行えるようになり、満足度が向上出来るか日本作業療法士協会の「生活行為向上マネジメントの質の評価方法の開発と質の向上の在り方検討事業」に協力する。
審議結果	承認
意見	特になし

付議不要と判断された研究計画の報告	
申請者	岡本 峰生
研究名	トル移乗に介助を要する脳血管疾患患者の自宅退院に関する因子の検討
付議不要と判断された研究計画の報告	
申請者	鈴木 恵理
研究名	台風通過における気圧変化と耳症状について